

企画展示「高校生ボランティアがおすすめする本」について

県立図書館では、令和6年7月31日(水)～8月2日(金)の3日間、県内25校25名の高校生に、夏休み高校生ボランティアとして活動してもらいました。25名の高校生には、図書の配架や整理などの他、読書推進活動として、おすすめの本のPOP作成にも取り組んでももらいました。今回は、高校生が作成したPOPを使用して、ボランティアの活動を紹介する展示を実施します。

1 期間 令和6年8月30日(金)～9月25日(水)

2 場所 1階中央図書室

3 内容

高校生ボランティアがおすすめする本を、POPとあわせて展示します(25点)。全て貸出可能です。

(展示資料の一部)

- ・『農ガール、農ライフ』 垣谷美雨／著
- ・『電池が切れるまで』 宮本雅史／著
- ・『関心領域』 マーティン・エイミス／著 北田絵里子／訳
- ・『お探し物は図書室まで』 青山美智子／著
- ・『嵐が丘』 エミリー・ブロンテ／著 など

4 夏休み高校生ボランティアについて

県民に開かれた図書館作りの一環として、高校生を対象に社会参加と体験活動の場を提供するため、平成8年度より県立図書館において実施している事業です。